

(資料 R8.9.18)

水稲の刈取り状況（9月17日現在概況速報）について

1 水稲の刈取り状況（各農業改良普及センターによる一斉調査）

- (1) 9月17日現在、県全体の水田の7%で刈取りが終了しており、地帯別では、北上川上流8%、北上川下流7%、東部4%、北部4%となっています。
- (2) 刈取り始期（10%）は、平年より4日早い9月18日頃に迎えると見込まれます。

表1 県内水稲の刈取り状況（9月17日現在、各農業改良普及センター調査）

	進捗率(%)				本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)
	本年	R7	R6	R5	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期
北上川上流	8	23	29	23	[9/18]			9/22	10/3	10/14	[-4]
北上川下流	7	19	27	21	[9/18]			9/22	10/2	10/12	[-4]
東 部	4	23	42	27	[9/20]			9/21	9/30	10/12	[-1]
北 部	4	27	22	19	[9/20]			9/24	10/4	10/16	[-4]
県 全 体	7	21	28	22	[9/18]			9/22	10/2	10/13	[-4]

- 1) 県全体…地帯別の水稲作付面積比による加重平均。
- 2) 刈取り時期…始期：10%、盛期：50%、終期：90% の水田で終了した日。
始期〔括弧書き〕は、平成28年～令和7年の10ヵ年の進捗率を基に推定した値。
- 3) 平 年…平成28年～令和7年の10ヵ年の平均値。

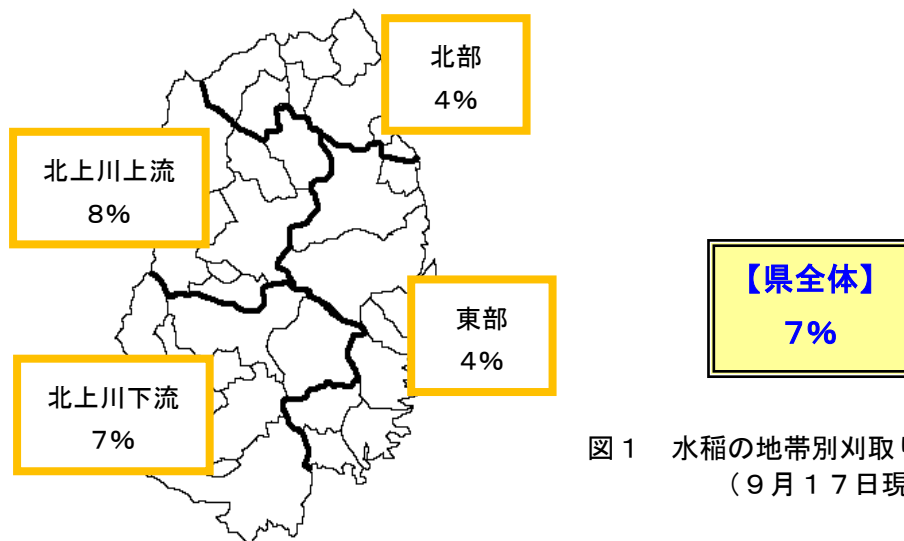


図1 水稲の地帯別刈取り状況（9月17日現在）

2 当面の技術対策

- (1) 刈遅れは着色粒、胴割粒、白未熟粒の混入率を高めるので、速やかに刈取りを終えること。
- (2) 倒伏したほ場では、コンバイン等の作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
- (3) 収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめる、農作業安全に心がけること。
- (4) 粃の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
- (5) 自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。